

## バーレーン、西サハラに総領事館 モロッコの領有承認

[中東・アフリカ](#)

フォローする

2020年11月27日 9:19

保存



【カイロ=共同】モロッコの国営マグレブ・アラブ通信は26日、モロッコのモハメド国王とバーレーンのハマド国王が電話会談し、モロッコが実効支配する西サハラにバーレーンが総領事館を開設することで一致したと伝えた。開設予定地のラユーンでは、アラブ首長国連邦（UAE）が今年4日、総領事館を開設した。

総領事館の開設で、モロッコが悲願とする西サハラ領有権の国際的な承認に近づく。バーレーンとUAEはこの支援により、モロッコにも自国同様にイスラエルとの国交正常化を促していると思われる。

鉱物資源が豊富な西サハラを巡っては、モロッコ軍が13日、主要道路を独立派「ポリサリオ戦線」の支持者らが封鎖しているとして排除を開始し、軍事的緊張が高まっている。

[アプリで開く](#)

春割ですべての記事が読み放題

有料会員が2カ月無料

春割で無料体験する

[無料会員に登録する](#)

ログインする

有料会員限定

キーワード登録であなたの

[重要なニュースを](#)

# ハイライト



日経電子版 紙面ビューアー

詳しく見る

保存



## こちらもおすすめ(自動検索)

中東、対イスラエル外交を見直し アブラハム合意に  
ひび

2023年11月3日 🔒



中東、アブラハムは死なず 対イランでイスラエルと  
引力

2023年11月15日 🔒



カタール、人質解放仲介で存在感 米やハマスと関係  
深く

2023年10月23日 🔒

